

1. 日米株式と円/ドルの推移



(注)チャートは過去1年

	単位	2019/12/31	2020/11/30	2020/12/25	過去3年高値		過去3年安値	
		(前年末)	(前月末)	(前週末)	水準	日付	水準	日付
日経平均	円	23,656.62	26,433.62	26,656.61	26,905.67	2020/12/21	16,358.19	2020/3/19
NYダウ	ドル	28,538.44	29,638.64	30,199.87	30,343.59	2020/12/18	18,213.65	2020/3/23
円/ドル	円	108.61	104.31	103.43	114.55	2018/10/4	101.19	2020/3/9

過去3年高値・安値はザラ場ベース / 当社が信頼できると判断した情報に基づき作成

2. 日本株市場 先週の振り返り

～ 感染力が強い新型コロナウイルス変異種の感染が拡大していることへの懸念などから、下落～

先週の日本株市場は、週間ベースで日経平均が▲106.78円(▲0.40%)、TOPIXが▲14.83ポイント(▲0.83%)となり、感染力が強い新型コロナウイルス変異種の感染が拡大していることへの懸念などから、下落しました。業種別(東証33業種)で見ると、倉庫・運輸関連、精密機器、食料品などの11業種が上昇した一方、情報・通信業、証券・商品先物取引業、その他製品などの22業種が下落しました。

週前半は、米国時間20日に米与野党指導部が9,000億ドル規模の追加経済対策の最終合意に至り、翌21日には同法案が議会で可決されたことは好感されるも、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大に歯止めがかからない中、英国で従来種より感染力が強い変異種の感染が拡大していることへの懸念が上回り、下落しました。週後半は、トランプ米大統領が国民に対する直接給付金の引き上げなどを求めて追加経済対策への署名を拒否したことを受けた同法案の修正を巡る野党との協議が難航していることなどが重しとなる一方、①ワクチンの普及による経済活動正常化への期待が高まったこと、②英国とEU(欧州連合)が通商協定で合意に至り、英国のEU離脱に伴う経済・市場の混乱が回避されたことへの安心感が広がったことなどから上昇しました。

3. 今週の主な予定

日程	曜日	国・地域	項目	期間	前回
12月28日	Mon	日本	鉱工業生産(前月比)	11月	+4.0%
決算発表予定 他		なし			

※ 当社が信頼できると判断した情報に基づき作成

4. 日本株市場 今週の見通し

～ 新型コロナウイルスの感染拡大や米国の政治的不透明感を背景にやや弱含む展開～

今週の日本株市場は、新型コロナウイルスの感染拡大や米国の政治的不透明感を背景に弱含む展開を予想します。今週は年内最終週となることから、国内機関投資家中心に積極的な売買は手控えられ基本的には方向感が出にくいとみえますが、①新型コロナウイルスの感染拡大に歯止めがかからない中、主要国における行動制限措置が長期化しており、目先の景気や企業業績への警戒感が強まっていること、②1月5日の米国ジョージア州の上院議会選挙を控え、株価が高値圏で推移する中で民主党が大統領、上下両院を制する可能性などが重しとなり、やや弱含むとみえます。但し、①ワクチン接種が進む中、来年半ばには経済活動が正常化するとの期待が根強いこと、②主要国中央銀行が緩和的な金融政策を維持していることなどから、下値も限定的とみえています。

その他の注目材料として、日本では28日の鉱工業生産が挙げられます。

2020年の週間日本株レポートは今号が最終となります。次回は年明け1月4日となります。来年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。

